



東日本震災復興基金 日本委員会

委員長 小沢一彦

2011年9月14日

ガバナー 各位

東日本震災復興基金日本委員会からの報告

初秋の候、地区ガバナーの皆様にはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。各地区から現況を知りたいというご連絡をいただきますので、第1回のご報告を申し上げます。

東日本震災復興基金日本委員会が2011年7月1日に発足して以来、同年8月6日までに44件、同年9月7日までに82件の応募がありました。どのプロジェクトも素晴らしく、申請金額も多く、限られた基金の中で、できるだけ多くの要望に答えたいと日本委員会では審査をしております。

既に委員会が2回開かれ、第1回（2011年8月6日）の会議で承認をされた15件のプロジェクトは送金が完了いたしました。第2回（2011年9月7日）には、第1回で調査や検討が必要とされていたプロジェクトの見直しと新しく届いたプロジェクトの審査をし、書類作成に入ります。会議では、その他、再検討をお願いしたり、スポンサーを捜して再提出をお願いしたり、緊急性を考えた上で素晴らしいプロジェクトでもペンディング頂いている場合があります。審査を繰り返しながら、できるだけすべてのプロジェクトが実施できるよう努力しております。

2011年9月7日現在、R財団のプロジェクトに使用される東日本災害復興基金の内訳は下記の通りです。

現金寄付	- US\$2,667,218
DDFによる寄付	- US\$1,405,034
総計	- US\$4,072,252
34件のMG承認（2011年6月30日までに申請され認証されたもの）	- US\$1,094,577
日本委員会プロジェクト承認（8月6日までの15件）	-US\$765,740.47
現在の残高	- US\$2,211,934.53

2011年6月30日までのMG34件と現在までの承認の合計は、既に基金の半分近くがが使用されています。日本委員会では申請されたプロジェクトをできるだけ多く支援していくために、プロジェクトの申請と同時に、基金への寄付をいただいて基を支えるご協力も、この場を借りてお願いいたします。

委員会では今後の日程を決定いたしました。

- 1) 東日本震災復興基金への寄付に対するポイントが得られるのは2011年12月31日までです。※ 税制上の優遇措置はその後に対応可能です。

2) 2012年 3月31日 東日本震災復興基金への申請受付 締切

3) 2012年 6月30日 すべての申請の審査を終了

4) 2012年 7月1日～ 各プロジェクトの報告書作成

5) 2012年 12月31日 RI・R財団へすべてのプロジェクトの最終（中間）報告書を提出。日本委員会解散。

申請書提出に対するお願い：

- 1) 申請されてくるプロジェクトはそれぞれ大変素晴らしく、申請金額も多いので、基金はすぐに終わってしまいます。プロジェクトには必ずスポンサーを捜して、持出し金額を足していただきますようお願いいたします。地区とも相談し、他地区のクラブへの呼びかけをしていただくこともお勧めいたします。
- 2) 2011年9月7日以降の申請書類にはクラブ独自の申請書であっても、必ず**地区ガバナー**の署名を入れて、提出してください。地区内での各クラブの活動状況を把握いただくためです。

すでに補助金が支払われた 15 件の承認プロジェクトは表の通りです。

プロジェクトの概要／実施場所	ロータリー・クラブまたは地区（該当する場合）
(陸前高田市) 津波で倒壊した水産加工作業所の原料が腐敗散乱したことにより大量にハエが発生。小学校に網戸を設置。補助金は網戸の購入と設置。 実施場所：長部小学校	申請は RI2660 地区 管理維持は 陸前高田市教育委員会
(八戸市)地震と津波で3か所のトイレが全壊。防犯上からも照明を伴った安全で清潔な公衆トイレを提供。その地域は漁業と観光の中心。 設置場所：鮫町八戸海岸蕪島駐車場	申請は八戸南 RC 協力：第 2650 地区、第 2770 地区、 地区、 第 3630 地区、韓国南浦項 RC、台湾
(南三陸町) 津波ですべて流された南三陸町の商工会の仮設事務所及び事務機器、仮設トイレ、連絡用軽自動車、相互に融通しあう資材等運搬用軽トラックを提供。 設置場所：元吉郡三陸町	佐沼 RC(2520 地区) 協力：鎌倉 RC、第 2780 地区
(南三陸町) ほとんど漁港機能復活のために運搬移動の手段としての機動力として、2tトラック3台と軽トラ3台を提供。 寄贈先：宮城県漁業協同組合志津川支所、歌津支所	佐沼 RC(2520 地区) 協力：寒川 RC、台湾台北士林 RC 第 2780 地区
(福島)車椅子が搭載できる福祉用の車を 10 台位現地に送る。日本橋、日本橋東、日本橋西、シティ日本橋4クラブでの支援。実施場所：福島市。福島南 RC が管理し、必要なところへ配布する。	第 2750 地区 東京日本橋東 RC 東京日本橋 RC 東京日本橋西 RC
家・家財をなくし、制服もそろえられない新入生に制服、実習服 65 名分送る 実施場所：福島県相馬農業高等学校	福島 21RC 協力：広島 21RC、 ウランバートル RC

津波で汚れた住居の洗浄に高圧洗浄機 26 台。その後の管理は石巻市町内会。 実施場所：石巻市	東京世田谷 RC 協力：第 2750 地区
(東松島市) 地震・津波の被害のひどかった東松島市のニーズに沿ったプロジェクト①市教育委員会の要望で 15 か所の幼稚園、小・中学校へ業務用冷蔵庫 60 台を寄贈。子供たちの給食が可能になる。②社会福祉協議会へ軽自動車 2 台寄贈。訪問介護のヘルパーが運転し、より多くの介護を必要とする人々への手助けが可能になる。③特別老人ホームへ車いす対応ワゴン車 実施場所：東松島市	大阪西南 RC (大阪 11 クラブが協賛)
大船渡市漁業組合へ軽トラック 2 台を贈呈。漁業の産業を復興するのに大いに役立つ。大船渡西 RC と大曲 RC とバンコクの RC との協力を得て実施。 実施場所：大船渡市	大曲 RC 協力：バンコクスリオン RC
(いわき市) 津波で流されてしまったので、ボランティア活動用のテントや炊き出し用のテントが不足。テント RC 10 張をいわき市社会福祉協議会へ贈呈。寄贈後はいわき市社会福祉協議会が管理。復興のための活動時に役立つ。	いわき桜 RC
(福島県南相馬市) 被災者に支援物資配布運搬強化のため官用運搬車を贈呈。これにより支援物資の運搬が可能。被災地区が最もニーズが高いと願ったもの。維持管理は南相馬市	京都西山 RC 協力：台湾三重北区 RC 、喜多方中央 RC
(いわき市小名浜) ふくしま海洋科学館の館用車を送り、復旧に向けてあらゆる努力をする	京都西山 RC 協力：台湾三重北区 RC、いわき桜 RC
被災地での飲料水確保のために非常用の飲料浄水器設置 2 台設置(新品と中古)人々に衛生的な飲料水を供給する。設置場所：大槌町公民館	東京西 RC 協力：第 2750 地区
(大槌町) 大破し、すべてを津波でながされてしまった大槌中学校の実技教科で実習をおこなうための備品を提供。中学生の学習意欲と学習効果のために環境を整える。実施場所：大槌町大槌中学校(大槌町)	大阪城東 RC
(気仙沼市) 気仙沼南 RC と協同で津波の被害にあった気仙沼小泉小学校の子供たちに電子辞書を寄贈して、地元でキャリアセミナーを開催。その後東京に招待し、簡易なインターンシップを経験させ、子供たちに夢と希望を送るもの。東京への子供たちの交通費・宿泊費の申請。小泉小学校の校庭には今まで体育館に避難していた人たちの仮設住宅ができたところである。	東京麻布 RC

復興基金は世界中のロータリアンから東日本の復興のために寄付を頂き、世界中のロータリアンの被災地に役立つプログラムに使用して欲しいという温かい気持ちのこもったものです。日本委員会では、その気持ちを心に留めて、事務所費、連絡費、現地調査費、会議費等、すべて各自負担しております。平松会計担当(横須賀 RC)には、プロジェクト銀行口座への振込み手数料の免除をいただいております。

東日本震災復興基金日本委員会のメンバーは下記のとおりです。

委員長 小沢一彦(横須賀 RC)
委員 黒田正宏(八戸南 RC)
// 岩井 敏(東京京浜 RC)
// 北 清治(浦和東 RC)
// 辰野克彦(東京西 RC)
// 金杉 誠(横浜西 RC)
会計担当 平松廣司(横須賀 RC)
事務局 柚木裕子(かながわ湘南 RC)
// 荻原美香(横須賀商工会議所)